

参加申し込み

論文・報告の申込

論文・報告発表資格

- 発表資格要件はありません。どなたでも発表できます。
多様な分野から幅広く論文・報告を発表していただくことを期待しています。
ただし、別途設置する論文審査委員会の審査の結果、訂正等をお願いする場合があります。

論文・報告発表申込み

- ホームページまたは別添の『論文・報告発表申込書』に記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
発表の要旨は200字程度で記入して下さい。
発表申込締切：平成30年6月29日(金)《論文の提出締切りは8月31日(金)》
- 発表者及び補助者は参加費を無料とします(計2名のみ)。
複数名参加の場合、3人目からは下記参加募集により参加を申し込んで下さい。

発表用資料作成要領

- 詳細は「発表登録者」に別途お知らせ致します。
資料は、A4版4～6ページで発表時間は概ね30分程度を予定しています。
- 発表論文は分かりやすさを基本にして、テーマに沿って作成して頂きます。
- 作成頂きました論文の著作権は区画整理と街づくりフォーラム実行委員会に属します。

参加募集

参加資格

- 参加資格要件はありません。どなたでも自由に参加できます。

参加申込

- ホームページまたは別添の「参加申込書」に記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
参加申込締切：平成30年9月28日(金)
ただし、定員に達し次第、受付を締め切らせて頂きます。
- お申し込み後に、次の口座に参加費をお振込みください。なお、振込手数料はご負担願います。
- 振り込まれた参加費は、払い戻し致しません。
みずほ銀行 麹町支店 普通預金
口座番号 1729377
口座名義 区画整理と街づくりフォーラム実行委員会
***お振込みは、10月22日(月)までお願い致します。**
- 入金確認後、事務局から「参加票」をお送りしますので、フォーラム当日必ずご持参ください。
参加票と引き換えに資料をお渡し致します。

論文・報告発表及び参加される方への注意事項

- このフォーラムは都市計画CPDプログラムに認定を予定しています。
- 両日とも昼食は準備しておりませんので、各自でお願い致します。
- 開催案内は、ホームページにも掲載しております。



事務局

参加申し込み・お問い合わせ等は、下記にお願い致します。

区画整理と街づくりフォーラム実行委員会事務局
〒102-0093 東京都千代田区紀尾井町3番32号 都市計画会館2階
公益社団法人 街づくり区画整理協会 担当：時任(ときとう)
Tel 03-3262-2089 Fax 03-3262-5907

HPアドレス : <http://www.ur-lr.or.jp/> e-mail : forum@ur-lr.or.jp

区画整理と街づくりフォーラム2018 開催案内

「区画整理と街づくりフォーラム(以下「フォーラム」といいます。)」は、土地区画整理手法の活用による街づくりに関して、土地区画整理事業や街づくりに関わっておられる方々による日頃の研究成果等の発表を通じて多様な技術・ノウハウを相互に伝達するとともに、講演やパネルディスカッション等により土地区画整理事業や街づくりに関する最新の情報を共有するほか、土地区画整理事業や街づくりに係わる皆様の交流の場とすることを目的に、2年に1回開催しているものです。

このフォーラムは、土地区画整理事業に関係する7団体が主催者となり、国土交通省等関係団体の後援もいただきながら、1997年の第1回からこれまでに11回開催してきております。

区画整理と街づくりフォーラムの概要

(1) 開催日 2018年11月12日(月)～13日(火)

(2) 場所 ホテル ラフレさいたま

住所 : 埼玉県さいたま市中央区新都心3-2
電話 : 048-601-1111 (代表)

(3) テーマ “街づくりと地域・事業・人の連携
～街の拠点形成・再構築とネットワークの強化～”

これからの社会構造の変化を見据え、コンパクト&ネットワークなどによる効果的な街づくりを進めることが望まれている。また、既成市街地や公共交通の再編整備による都市空間の様々な使い方、空き地等を集約し医療・福祉施設等を誘導し賑わいの創出実現に向け、都市のスポンジ化への対応等が求められている。

広域インフラと産業立地や観光の連携、街づくりと地域交通の再構築、各種基盤整備と上物整備の一体化、子育て世帯や高齢者世帯が安心して暮らせる住宅ストックと医療福祉・コミュニティ施設等の連携、公・学・民・等の人の連携などソフト施策の連携についてテーマに盛り込んだ。

(4) 主催者等

主催者 区画整理と街づくりフォーラム実行委員会(7団体)

全国土地区画整理事業推進協議会 市街地整備促進協議会
公益財団法人 区画整理促進機構 一般社団法人 全日本土地区画整理士会
公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター
独立行政法人 都市再生機構 公益社団法人 街づくり区画整理協会

共催者 公益財団法人 東京都都市づくり公社

後援(予定) 国土交通省等に後援をお願いする予定

(5) 参加費 (分科会・講演等)・・・一般 8,000円 ・ 学生 無料
(意見交換会)・・・無料 (※申込みが必要)

プログラム

●2018年11月12日(月)

分科会 (ラフレさいたま 5F「レインボールーム」「桃の間Ⅰ」「桃の間Ⅱ」)

| 時間 | 内容 | 会場 |
|-------------|------------|----------|
| 12:15～ | 受付 | 5Fロビー |
| 13:05～17:40 | 分科会(第1～第3) | 5F |
| 17:40～17:50 | 移動・休憩 | |
| 17:50～18:10 | 優秀論文表彰式 | 3F「櫻ホール」 |

意見交換会 (ラフレさいたま 3F櫻ホール)

閉会后、18時20分より3F「櫻ホール」にて意見交換会を開催致します。(無料)
主催、後援団体等を交えて和やかな意見交換の機会にしたいと思っております。是非ご参加下さい。
(ホームページの申し込みフォーム又は別添「申込み書」からお申し込みください)

●2018年11月13日(火)

基調講演等 (ラフレさいたま 3F櫻ホール)

| 時間 | 内容 |
|-------------|---|
| 9:30～ | 受付(前日出席されなかった方のみ) |
| 10:00 | 開会 |
| 10:00～10:50 | 基調講演 国土交通省大臣官房技術審議官(都市局担当) (予定) |
| 10:55～11:45 | 特別講演 |
| 11:45～13:00 | お昼休み(昼食は各自にて) |
| 13:00～15:00 | パネルディスカッション コーディネーター: 岸井 隆幸 日本大学 特任教授 パネリスト: 岡 絵里子 関西大学 環境都市工学部 教授 岡崎 正信 株式会社オガール 代表取締役 長谷川 隆三 株式会社フロントヤード(全国エリアマネジメントネットワーク) |
| 15:00 | 閉会 |
| 15:10～15:40 | (公社)街づくり区画整理協会による表彰式 |

注1) 時間配分、内容については変更することがあります。(以下同じ)
定員 300名程度
注2) 15時10分より街づくり区画整理協会による会長賞、功労賞の表彰式を行います(30分程度)。

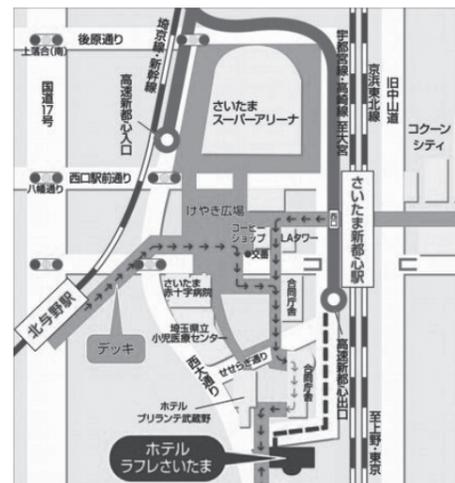
案内図

ラフレさいたま

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心3-2
電話 048(601)1111 (代表)

(交通のご案内)

JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線「さいたま新都心」駅下車
徒歩約10分



分科会の構成

今回のフォーラムでは、以下のように3つの分科会を設けて論文の発表を行っていただく予定です。各分科会では、前回フォーラムから招待論文を分科会ごとに1編予定しております。また、応募いただいた論文の中から審査のうえ、分科会ごとに5編の論文を発表していただく予定です。

| 区分 | テーマ | 内容 |
|-------|---------------------------------------|---|
| 第1分科会 | 街づくりと地域・事業・人の連携～街の拠点形成・再構築とネットワークの強化～ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 全体テーマに沿った論文(地域・事業・人の連携による拠点の形成) ◆ コンパクト・プラス・ネットワーク実現や国際競争力強化、地方都市の再生、都市のスポンジ化対策など独自の戦略や工夫などについての論文の発表を期待しております。 ◆ 具体的には以下のようなものが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ まちなかに健康・医療・福祉・教育・文化など様々な都市機能の移転・集約を実現した事例 ・ コンパクトシティの実現に向けて独自の発想でまちづくりを進めている事例 ・ 都市の活性化に向けてスマートシティ、観光まちづくり等の発想でまちづくりを進めている事例 ・ 日本の都市開発技術の海外展開 など <p><招待論文> 「さいたま新都心のまちづくり(30年)」</p> |
| 第2分科会 | まちづくり計画の実現に向けた面的整備事業等の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 総合的なまちづくりの実現に向けて区画整理だけでなくソフト施策を含む多様な施策展開や独自の工夫などについての論文の発表を期待しております。 ◆ 具体的には以下のようなものが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既成市街地のまちづくりに土地区画整理事業をうまく活用した事例(大街区化、敷地整序) ・ 他事業と一体的に進めて総合的なまちづくりを実現した事例(一体的施行、合併施行など) ・ 良好な景観形成などまちづくりの観点から特に創意工夫をした土地区画整理事業の事例 ・ 事業の計画・実施段階からエリアマネジメントを視野に入れた土地区画整理事業の事例 ・ 民間事業者を適切に活用して土地区画整理事業を含むまちづくりを短期かつ効果的に実現した事例(業務代行制度、CM方式、包括委託方式など) ・ 生産緑地法改正と2022年問題 ・ 震災復興や都市防災に資する面的整備事業 など <p><招待論文> 「オリンピック・パラリンピックに向けた街づくり」</p> |
| 第3分科会 | 区画整理実施上の技術・工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 土地区画整理事業の計画立案・合意形成・事業推進等に係るさまざまな課題に的確に対応するための工夫で、他地区の参考となるものについての論文の発表を期待しております。 ◆ 具体的には以下のようなものが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地評価手法(土壌汚染や地中障害物などの土地評価手法) ・ 換地設計(申出換地、立体換地、創設換地など)、補償、工事上の工夫 ・ 換地・補償交渉における合意形成を円滑に進めた事例 ・ 強制力を伴う直接施行の工夫(居住者が居る場合での直接施行、墓地や既存不適格案件の直接施行、直接施行とその後の実務や訴訟対応など) ・ 長期未着手地区を適切に処理した事例 ・ 事業長期化問題を適切に処理した事例(賦課金の徴収、保留地管理法人の設立など) ・ 組合経営改善への取組み、保留地処分などの工夫 など <p><招待論文> 「区画整理と再開発の一体施行地区における換地設計の工夫～湊二丁目地区の事例～」</p> |

注) 1. 分科会の構成等は、それぞれの応募状況により整理変更する場合があります。
2. 各分科会では、それぞれの発表の最後で質疑・討議形式に移行しますので、発表者は討議への参加をお願いいたします。
3. 優秀な論文・報告発表者には、表彰状及び副賞の授与を致します。
4. 発表者及び補助者(1名)は、参加費を無料とさせていただきます。

論文の募集

論文の発表をお考えの方は、各分科会のテーマ、期待する内容等を参考にして発表・聴講する分科会を選定して下さい。

応募いただいた論文については、あらかじめ分科会ごとに審査会で審査を行い、分科会で発表していただく5編を選定いたします。また、当日は、分科会における発表内容(いわゆるプレゼンテーション)を踏まえて特に優秀な論文若干編を選定し、分科会終了後に表彰をさせていただきます。なお、応募いただいた論文はすべて論文集に掲載し、当日皆様に配布させていただきます。

また、論文の内容については、単なる事例報告にとどまらず、①事業上の課題(当時苦労された点)とその解決のために行われた創意工夫、②今後の課題または今後の展開等に向けた期待などを記載していただくようお願いいたします。